

## 第2課 關係與比例：とおりに／どおりに・によって・たびに・ば～ほど・ついでに

第2課講的是「兩件事之間的關係」：照著某個樣子去做（とおりに／どおりに）、隨著條件不同而變化（によって）、每逢某情況就發生（たびに）、程度成正比（ば～ほど），以及順手一併做（ついでに）。這些句型讓你能把「A 和 B 怎樣連繫」說得精準。

### ■ 今課目標

- 用 ～とおりに（に）／～どおりに（に）表達「照著...那樣」。
- 用 ～によって 表達「因...而異」、～によつては 表達「某些情況下」。
- 用 ～たびに 表達「每逢...就...」。
- 用 ～ば～ほど 表達「越...越...」的正比關係。
- 用 ～ついでに 表達「趁做某事的機會，順便做另一件事」。

### 一、～とおりに（に）／～どおりに（に）：照著...那樣

#### ■ 表示「和...一樣」「按照...」

～とおりに（に）表示「跟前面所說／所示的內容一模一樣地（做）」。接動詞或「名詞+の」用 とおり；直接接在名詞後面時，多會濁化成 どおり（如 予定どおり、期待どおり、時間どおり）。

#### ■ 形式規則

##### 接續重點

1. 接動詞：教えてもらったとおりに／言うとおりに
2. 名詞+の：説明書のとおりに
3. 名詞直接接（濁化）：予定どおり／期待どおり／時間どおり／約束どおり

動辭書形／た形／名詞+の + とおり（に）；名詞 + どおり（に）。とおりで 作句末 = 「和...一樣」。

## ■ 例句

1. 先生に教えてもらったとおりに歩いたので、迷わず会場に着いた。  
→ 照著老師教的那樣走，所以沒迷路就到了會場。
2. この本に書いてあるとおりに作ってみよう。  
→ 照著這本書寫的那樣試做吧。
3. 試合の結果は、私たちの期待とおりだった。  
→ 比賽結果和我們期待的一樣。
4. 電車は時間とおりに到着した。  
→ 電車準時（照時間）到達。

## 二、～によって／～によっては：因...而異、某些情況下

### ■ 表達情況因條件而變

～によって 表示「根據 N 的不同，情況也跟著不同」，後句常配 違う、さまざま、いろいろだ 等表示差異的詞。～によっては 則從眾多可能中挑出其中一種情況，意思接近「某些情況下、有時候」，後句常配 ～こともある、～かもしれない。

#### によって 與容易混淆的助詞

助詞	意思	例子
N によって	因 N 而異	習慣は国によって違う。
N によっては	某些情況下	場合によっては中止だ。
N にとって	對 N 來說	私にとって大切な物だ。
N について	關於 N	日本について調べる。

## ■ 例句

1. 習慣は国によって違う。  
→ 習慣因國家而不同。
2. 考え方は人によってさまざまだ。  
→ 想法因人而異，各有不同。
3. 日によつては、夜中まで働くこともある。  
→ 視乎日子，有時要工作到半夜。挑出其中一種情況。
4. 場合によつては、今年の文化祭は中止になるかもしれない。  
→ 某些情況下，今年的文化祭可能會取消。

### ■ 注意：另一個 によって

によって 還有「由於... (原因)」「透過... (手段)」以及被動句中表示動作者的用法（例：火事によつて、電話によつて、ピカソによつて描かれた）。那一組屬於第5課「原因・理由」的範圍，這裡先掌握「因...而異」這個意思。

## 三、～たびに：每逢...就...

### ■ 表達「每一次都...」

～たびに 表示「每逢做某動作或每逢某情況發生，就會（伴隨）出現後句的結果」。等於「～するときはいつも」。接動辭書形或「名詞+の」。

### ■ 形式規則

動辭書形／名詞+の + たびに。後句是每次都伴隨發生的事。

## ■ 例句

1. 彼に会う**たびに**、昔のことを思い出す。  
→ 每次見到他，就會想起以前的事。
2. この写真を見る**たびに**、留学時代を思い出す。  
→ 每次看到這張相，就會想起留學的日子。
3. 試験の**たびに**、緊張してお腹が痛くなる。  
→ 每逢考試，就會緊張到肚痛。
4. このチームは試合の**たびに**強くなっている。  
→ 這支隊伍每打一場比賽就變強一點。

## 四、～ば～ほど：越...越...

### ■ 表達程度成正比

～ば～ほど 表示「前項的程度增加，後項的程度也跟著增加」，即「越...越...」。也可以用「名詞／形容詞＋ほど」單獨表達同類意思（如 忙しい人ほど...）。

### ■ 形式規則

#### 接續對照

1. 動詞：考える → 考えれば考えるほど
2. イ形容詞：高い → 高ければ高いほど
3. な形容詞：簡単 → 簡単なら簡単なほど／簡単であればあるほど
4. 名詞＋ほど：忙しい人ほど／プロほど

動：～ば形＋辭書形＋ほど；イ形：～ければ＋～い＋ほど；な形：～なら＋～な＋ほど（或 ～であればあるほど）。也可單用「イ形い／な形な／名詞＋ほど」。

## ■ 例句

1. この問題は考えれば考えるほど分からなくなる。  
→ 這個問題越想越不明白。
2. 給料は高ければ高いほどいい。  
→ 薪水越高越好。
3. 説明は簡単なら簡単なほどいい。  
→ 説明越簡單越好。
4. 忙しい人ほど、時間の使い方が上手だ。  
→ 越忙的人，越懂得運用時間。

## 五、～ついでに：趁機順便...

### ■ 表達「順便一併做」

～ついでに 表示「趁住做某件事的機會，順便把另一件事也做了」。前面的動作才是本來的目的，後面的是順手附帶做的。接動辭書形／た形／名詞＋の。

### ■ 形式規則

動辭書形／た形／名詞＋の + ついでに。前項＝本來的目的，後項＝順便做的事。

## ■ 例句

1. 買い物のついでに、銀行に寄ってきた。  
→ 買東西的時候，順便去了銀行。
2. 散歩するついでに、この手紙を出してきてくれない？  
→ 散步的時候，可以順便幫我寄這封信嗎？
3. 東京へ出張したついでに、昔の友だちに会った。  
→ 去東京出差的時候，順便見了舊朋友。
4. 掃除のついでに、棚の整理もした。  
→ 打掃的時候，順便整理了架子。

## 六、常見錯誤與總整理

### ■ 常見錯誤

- **×** 国にとって習慣が違う。  
○ **国によって習慣が違う。**  
「因...而異」要用 によって；にとって 是「對...來說」，意思完全不同。
- **×** 予定のとおりに会議を始めます。  
○ **予定どおりに会議を始めます。**  
名詞直接接時多濁化成 どおり；用 ~のとおり 雖非全錯，但 予定どおり 才是慣用講法。
- **×** 考えるほど考えるほど分からなくなる。  
○ **考えれば考えるほど分からなくなる。**  
「越...越...」前半要用 ば形：考えれば考えるほど。
- **×** 銀行に寄るついでに、買い物をしてきた。  
○ **買い物のついでに、銀行に寄ってきた。**  
ついでに 前面放的是「本來的目的」，順便做的事放在後句；主次不要倒轉。
- **×** 会うたびに、いつも昔を思い出すことがある。  
○ **会うたびに、昔を思い出す。**  
たびに 本身已含「每次都」，不需要再加 ことがある（偶爾）這種矛盾的詞。

自己輸出：用本課五個句型各寫一句。其中一句講文化差異（によって），一句講你「越做越...」的經驗（ば〜ほど）。

---

---

---

---

---